



建築パフォーマンス I 00ka077 砂原 健三

設計趣旨

新宿という都市は日本にとどまらず、世界に名だたる都市であり、日本の副都心という重要な役割を担っている。そこで日本の顔である新宿から世界へ向けた情報発信の媒体として、日本の美術を発信し続ける近代美術館を提案する。この美術館は日本の美術を日本人だけでなく、世界の人々に広く知ってもらおうということにテーマを絞って企画した。中央部分に日本美術展示ホールを建て左右にそれを補うものとして国際交流企画展と日本美術歴史展を建てた。日本美術展示ホールは円筒の建物として周りから独立しており、ここに日本の優れた美術品を集結させる。ここは1階と2階のみの吹き抜けになっており、壮大な印象をもたせ、外からは印象的なものとしてこの美術館のシンボリックな役割も果たす。左右には企画的なものとして日本美術を紹介し、海外スタッフを常時待機させる部屋を作り、外国人にも使いやすい環境をつくった。2階には喫茶店や図書館等、学習やくつろぎのスペースを多く設け1階とは異なる空間を作った。また、3階にはセミナー室や簡単な宿泊施設を設け、企画準備や学習目的として活用できるようにした。